

## チュートリアル課題 やっぱり気のせい?

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-07-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032906">https://doi.org/10.20780/00032906</a>

2017年度 Segment. 5

課 題 No.1

課題名：やっぱり気のせい？

課題作成者：消化器外科学  
消化器内視鏡科  
解剖学

有泉俊一  
中村真一  
本多祥子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

Aさん（25歳，女性）は、入社して3年目。最近、残業も多くストレスの多い毎日です。3ヶ月にわたり胃のあたりの不快感に悩んでいます。今日はとうとう医師に診てもらうことにし診療所を受診しました。

Aさん：「この3ヶ月間、食事をしてももたれ感があり、すぐにお腹がいっぱいになってしまいます。胃が働いていないみたいです。」

Aさん：「食べたい気もしなくなり、消化が悪い気がして、痩せるのではないかと心配です。」

シート2

医師：「お腹は痛いですか？」

Aさん：「食後にみぞおちが痛みます。」

医師：「ではお腹を診察させてください。」

医師は腹部を観察した後に、聴診器を取り出しました。

医師：「お腹の音を聴きます。」

Aさん：「どんな具合ですか？」

医師：「腸の音は。。。」

医師：「お腹を触ります。痛みがあったら教えてください。」

医師は腹部を丁寧に触診しています。

Aさん：「そこが痛みます。そこは何ですか？」

シート3

医師：「念のため、いくつか検査をしてみましょう。」

「この検査には同意書が必要です。説明（内容）をよく読んでサインをお願いします。」

Aさん：「わかりました。これまで検査なんて受けたことはありません。」

すべての検査を終了したAさんは、後日、医師と面談し、説明を受けました。

Aさん：「先生、結果はどうでした？病気ですか？」

シート4

医師：「検査には何も異常がありませんでした。よかったですね。」

Aさん：「では、きのせいでしょうか？」

医師：「そうです。機能性です。」

Aさん：「よく病は気からといいますものね。よかったです。きのせいで。」

医師：「そうではありません。機能性胃腸症です。」

Aさん：「???'」